

平成 27 年度

# 弘前大学大学院地域社会研究科

(後期 3 年博士課程)

## 学 生 募 集 要 項

一般選抜, 社会人特別選抜

弘 前 大 学

## 目 次

### 学生募集要項

I	入学者選抜時期の区分	1
II	一般選抜	1
1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願書類等	2
4	出願受付期間	2
5	出願方法	2
6	出願書類提出先	2
7	選抜方法	3
8	合格発表及び入学手続き	3
9	その他	3
III	社会人特別選抜	4
1	募集人員	4
2	出願資格	4
3	出願書類等	4
4	出願受付期間	5
5	出願方法	5
6	出願書類提出先	5
7	選抜方法	5
8	合格発表及び入学手続き	5
9	その他	5

### 研究科案内

I	講座の研究内容	6
II	担当教員研究内容	7

本学所定の用紙（綴込み）

- 様式1 入学志願票・履歴書, 受験票, 写真票, 「振替払込受付証明書」貼付台紙
- 様式2 研究計画書
- 様式3 受験及び通学承諾書
- 様式4 入学試験出願資格認定申請書
- 様式5 研究業績等一覧  
払込取扱票  
あて名シール

# 弘前大学大学院

## 地域社会研究科後期3年博士課程の概要

21世紀の地域社会は、自立的・持続的な社会づくりを目指して、地域の特性に基づいた産業の創出と、地域が誇るべき文化の創造・発信を担いうる人材を求めています。

本研究科は、地域に立脚した地方国立大学法人として、このような地域の期待に応えるべく、課題探求能力に優れ、広い視野と総合的な判断力と実践能力を備えた、地域社会の活性化に実践的に関わることのできる高度専門職業人の養成を目指しています。

また、本研究科は自らが地域社会の構成員であることを認識し、教育研究の対象として地域社会の抱える課題を積極的に取り上げるとともに、高度で専門的な能力と幅広い領域にわたる知見を集積する地域の中核機関として、実効性ある研究成果を生み出し、自立的で持続的かつ魅力ある地域社会の実現に主体的に貢献しようと考えています。

具体的には、次のような地域社会研究を構想し、教育研究に取り組みます。

- ① 地域の現状を分析・把握して、その課題を学問的に検討し、自立的で持続的かつ魅力的な地域社会の実現のために必要な施策を明確化する。
- ② 地域のシーズ及び自然・文化・社会資産の再発見や新たな視点での地域社会の再認識を進める。
- ③ 地域産業の活性化や高付加価値化を図り、また地域住民の生活や環境を個性豊かで誇りあるものにするための実効性ある政策研究を展開する。

# 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学大学院地域社会研究科（後期3年博士課程）

## ◎地域社会専攻

### 1 概要

地域の特性に基づいた産業の創出と地域が誇るべき文化の創造・発信を担うことができる人材，課題探求能力・広い視野と総合的な判断力そして実践能力を備え，地域社会の活性化や政策研究に実践的に関わる高度職業人の養成を目指しています。

### 2 求める学生像

- ・地域に新たな産業を育成し，又は既存の産業を一層活力あるものにすることに意欲を持っている人。
- ・地域の文化資源を住民生活の質的向上に結合させることに意欲を持っている人。
- ・生活・文化・産業に関する行政施策の立案に意欲を持っている人。

### 3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- ・産業の育成・活性化に関する基礎的知識を有すること。
- ・文化・生活・行政に関する基礎的知識を有すること。

### 4 入学者選抜の基本方針

文化・生活・産業・行政に関する基礎的知識，研究に対する探求心，意欲等を評価するために，書類審査（研究計画書・研究業績等）及び口述試験の結果を総合して選抜します。

## 学生募集要項

### I 入学者選抜時期の区分

平成27年度弘前大学大学院地域社会研究科（後期3年博士課程）の入学者の選抜は、「一般選抜」及び「社会人特別選抜」に分けて行います。

社会人特別選抜は、社会的要請に応じて、各種の研究・教育機関、行政機関、企業等で活躍している現職の社会人に対して、リフレッシュ教育の場を提供すると共に高度専門職業人の養成を目指し、一般選抜とは異なった時期に入学者の選抜を行うものです。

### II 一般選抜

#### 1 募集人員

専攻	募集人員
地域社会専攻	6人

※募集人員には、社会人特別選抜若干名を含みます。

#### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者、又は平成27年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は平成27年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は平成27年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は平成27年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年3月までに24歳に達する者

注) 上記の(5)又は(6)により出願しようとする者は、「入学試験出願資格認定申請書（様式4）」、「研究業績等一覧（様式5）」に出身大学等の卒業証明書、成績証明書及び研究業績等の内容を証明する書類等（学術論文、研究報告書、特許、著書等の現物あるいは写しのいずれか）を添付し出願期間開始日の1ヶ月前までに弘前大学学務部入試課へ提出してください。入学資格審査の結果は、おって本人あて通知します。

### 3 出願書類等

出願書類等	提出該当者	摘要
①入学志願票等 (様式1)	全員	本研究科所定の用紙に必要事項を記入して提出してください。(入学志願票・履歴書, 受験票, 写真票, 「振替払込受付証明書」貼付台紙)
②修士課程成績証明書	出願資格(1)～(4)で 出願する者	出身大学院の研究科長が証明し厳封したものを提出してください。
③修士課程修了証明書 (修了見込証明書)	出願資格(1)～(4)で 出願する者	出身大学院の修了証明書又は修了見込証明書を提出してください。
④修士の学位論文等	出願資格(1)～(4)で 出願する者	学位論文の写し 学位論文提出前である場合は, それに代わるものを提出してください。 (3)又は(4)で出願する者で学位論文がない場合は, 研究業績等の内容を証明する学術論文, 研究報告書等を提出してください。
⑤研究計画書 (様式2)	全員	2,000字以内(ワープロで作成の場合この様式以外でも可。ただし, その場合でも2,000字以内)で作成したものを提出してください。
⑥入学検定料 (30,000円)	全員	所定の払込取扱票により, 最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。 (注)平成27年3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し, 引き続き本研究科に進学する者及び国費外国人留学生は, 払込みを要しません。
⑦返信用封筒	全員	受験票等を郵送しますので, 長形3号の封筒に郵便番号, 住所, 氏名を記入し82円の切手を貼付してください。
⑧あて名シール	全員	合格通知書等の送付先を記入してください。
⑨登録原票記載事項 証明書等	日本国籍を有しない 者	登録原票記載事項証明書(受験のため来日する場合は, 査証の写し)を提出してください。 国費外国人留学生は, 「国費外国人留学生証明書」も提出してください。

### 4 出願受付期間

- (1) 受付期間 平成27年1月19日(月)～1月23日(金)(必着)
- (2) 受付時間 午前9時～午後5時

### 5 出願方法

入学志願者は, 出願書類等を取りそろえ持参又は郵送により提出してください。

なお, 郵送する場合は, 必ず書留速達郵便とし, 封筒の表に「地域社会研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

### 6 出願書類提出先

弘前大学学務部入試課  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
電話 0172-39-3973・3193

## 7 選 抜 方 法

研究計画書，研究業績等の書類審査及び口述試験の結果を総合し，合格者を決定します。

- (1) 試験日 平成27年2月13日（金）午後2時～  
試験開始15分前までに集合してください。  
口述試験の際，学位論文等の写し及び研究計画書の写しの持参を認めます。
- (2) 試験場 弘前大学総合教育棟（弘前市文京町1番地）

## 8 合格発表及び入学手続き

下記の日時，場所に合格者の受験番号を掲示するとともに，合格者には合格通知書及び入学手続関係書類を郵送します。

なお，電話その他による可否の問い合わせには応じられません。

- (1) 日 時 平成27年2月20日（金）午前10時（予定）
- (2) 場 所 弘前大学学務部入試課前掲示板

## 9 そ の 他

- (1) 身体に障害のある者で，受験上・修学上特別の配慮が必要な者は，事前に弘前大学学務部入試課へ問い合わせてください。
- (2) 出願書類の受付後は，書類の返却及び記載事項の変更は認めません。ただし，修士論文（写）については後日返却します。
- (3) 入学時の必要経費  
入学料 282,000円（予定）  
授業料 前期分 267,900円（年額535,800円）（予定）  
注1） 入学手続時までに及び在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合は，改定時から新料金が適用されます。  
注2） 平成27年3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し，引き続き本研究科に進学する者は入学料の納付は必要ありません。  
注3） 国費外国人留学生は，入学料及び授業料の納付は必要ありません。  
注4） 入学料・授業料は申請により状況を勘案し免除される場合があります。
- (4) 日本学生支援機構奨学金  
申請により貸与を受けられる場合があります。
- (5) 個人情報の取り扱いについて  
出願書類等に記載された，志願者の住所・氏名・生年月日その他の個人情報は，入学者選抜，合格発表，入学手続き及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理，入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うために利用するものとします。また，取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外に使用しません。

### Ⅲ 社会人特別選抜

#### 1 募集人員

専攻	募集人員
地域社会専攻	若干名

#### 2 出願資格

社会人特別選抜を受験できる者は、各種の研究・教育機関、行政機関、企業等に2年以上職員として勤務している研究者又は技術者で入学後もその身分を有し、勤務先の所属長又はこれに準ずる者より推薦を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年3月までに24歳に達する者

注) 上記の(5)又は(6)により出願しようとする者は、「入学試験出願資格認定申請書(様式4)」、「研究業績等一覧(様式5)」に出身大学等の卒業証明書、成績証明書及び研究業績等の内容を証明する書類等(学術論文、研究報告書、特許、著書等の現物あるいは写しのいずれか)を添付し出願期間開始日の1ヶ月前までに弘前大学学務部入試課へ提出してください。入学資格審査の結果は、おって本人あて通知します。

#### 3 出願書類等

出願書類等	提出該当者	摘要
①入学志願票等 (様式1)	全員	本研究科所定の用紙に必要事項を記入して提出してください。(入学志願票・履歴書、受験票、写真票、「振替払込受付証明書」貼付台紙)
②修士課程成績証明書	出願資格(1)～(4)で出願する者	出身大学院の研究科長が証明し厳封したものを提出してください。
③修士課程修了証明書	出願資格(1)～(4)で出願する者	出身大学院の修了証明書を提出してください。
④修士の学位論文等	出願資格(1)～(4)で出願する者	学位論文の写し (3)又は(4)で出願する者で学位論文がない場合は、研究業績等の内容を証明する学術論文、研究報告書等を提出してください。
⑤研究計画書 (様式2)	全員	2,000字以内(ワープロで作成の場合この様式以外でも可。ただし、その場合でも2,000字以内)で作成したものを提出してください。
⑥入学検定料 (30,000円)	全員	所定の払込取扱票により、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。
⑦返信用封筒	全員	受験票等を郵送しますので、長形3号の封筒に郵便番号、住所、氏名を記入し82円の切手を貼付してください。
⑧あて名シール	全員	合格通知書等の送付先を記入してください。
⑨受験及び通学承諾書(様式3)	有職者	官公庁・企業等に在職している者は、所属長の受験及び通学承諾書を提出してください。
⑩登録原票記載事項証明書等	日本国籍を有しない者	登録原票記載事項証明書(受験のため来日する場合は査証の写し)を提出してください。



#### 4 出願受付期間

- (1) 受付期間 平成26年9月8日(月)～9月12日(金)(必着)
- (2) 受付時間 午前9時～午後5時

#### 5 出願方法

入学志願者は、出願書類等を取りそろえ持参又は郵送により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず書留速達郵便とし、封筒の表に「地域社会研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

#### 6 出願書類提出先

弘前大学学務部入試課  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
電話 0172-39-3973・3193

#### 7 選抜方法

研究計画書、研究業績等の書類審査及び口述試験の結果を総合し、合格者を決定します。

- (1) 試験日 平成26年10月8日(水) 午後1時～  
試験開始15分前までに集合してください。  
口述試験の際、学位論文等の写し及び研究計画書の写しの持参を認めます。
- (2) 試験場 弘前大学総合教育棟(弘前市文京町1番地)

#### 8 合格発表及び入学手続き

下記の日時、場所に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続関係書類を郵送します。

なお、電話その他による可否の問い合わせには応じられません。

- (1) 日時 平成26年10月20日(月) 午前10時(予定)
- (2) 場所 弘前大学学務部入試課前掲示板

#### 9 その他

- (1) 大学院設置基準第14条による教育方法の特例を適用し、学生の実情に応じた夜間、休日等の教育研究指導を行います。
- (2) 身体に障害のある者で、受験上・修学上特別の配慮が必要な者は、事前に弘前大学学務部入試課へ問い合わせてください。
- (3) 出願書類の受付後は、書類の返却及び記載事項の変更は認めません。ただし、修士論文(写)については後日返却します。
- (4) 入学時の必要経費  
入学料 282,000円(予定)  
授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)(予定)  
注1) 入学手続時までに及び在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合は、改定時から新料金が適用されます。  
注2) 入学料・授業料は申請により状況を勘案し免除される場合があります。
- (5) 日本学生支援機構奨学金  
申請により貸与を受けられる場合があります。
- (6) 個人情報の取り扱いについて  
出願書類等に記載された、志願者の住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うために利用するものとします。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しません。

## 研究科案内

### I 講座の研究内容

#### 1 地域産業研究講座

自立的で持続的な地域社会の基盤をなす地域産業活動に関する研究を行う。

「地域産業論」分野では、地域社会を経済的に活性化するため、企業や企業家のとるべき経営行動などについて総合的、ないし戦略的に研究する。さらに、地域性豊かな商品やサービスの高付加価値化や産業化の可能性などを模索して、個性ある地域企業や産業の創出、育成に資するための研究を行う。

「地域産業開発論」分野では、現在の地域企業や産業にとって課題となっている地域独自の商品や産業素材の開発をはじめとして、地域産業の発展に大きく寄与すると判断される研究開発なども多面的に行っていく。

#### 2 地域文化研究講座

21世紀を迎えた地域社会は、地域固有の文化を改めて再確認し、その個性を知り、より一層豊かな文化的環境をつくりだすことが望まれている。本講座における教育研究の主眼は、地域のアイデンティティーの核となる地域固有の文化を再発見して、地域社会の活性化に活用する施策を探ることにある。

「地域社会形成論」分野では、個性あふれる北東北文化の基底をなす、縄文時代以来の地域文化形成の様相を把握する。

「地域行動研究」分野では、生活風土に定着している豊かで厳しい自然との交流の状況や地域における社会・文化・言語の根強い伝統と近代化の相克の動態を把握して、21世紀における多自然共生型地域社会を目指す研究を行う。

#### 3 地域政策研究講座

21世紀の地域社会に必須な、地域の政策課題を解決する研究を総合的な立場で行う。

「地域公共政策論」分野では、北東北・南北海道地域における広域行政圏の在り方や地域環境に関する政策的課題をめぐって、上記の産業や文化の研究と連携し、地域の特殊性を踏まえた研究を進める。

「地域生活環境政策論」分野では、個人的な生活に深く関連する生涯学習や自然環境に関する政策的課題に取り組む。また、北東北・南北海道地域での社会特性である進行度の早い高齢化現象のなかで重要視されてきている保健・医療政策に対して、倫理学・社会学的な観点からの検討を行う。

## II 担当教員研究内容

講座	教員名	研究内容	担当授業科目
地域 産業 研究	佐々木 純一郎	地域経営を研究課題とし、地域ブランドや社会的企業などを研究対象とする。なお、研究方法はケース・スタディを用いる。	研究方法論 (地域社会研究【選択必修】) 地域ブランドと地域産業 地域マネジメント論
	黄 孝 春	アジアの経済発展、新自由主義下のりんご産業の行方と対策。	地域企業と貿易
	森 樹 男	多極化時代における日系多国籍企業の地域統括マネジメント、北欧の地域活性化モデルと青森県、同人マンガの電子書籍化と海外展開。	地域ビジネス論
	李 永 俊	地方からの若者の流出や東日本大震災の被災地からの人口流出に関心を持ち、人口減少社会の中で持続可能な地域づくりをテーマに研究を進めています。	地域雇用政策研究
	飯 島 裕 胤	企業買収を中心に、その成否、経営者や関係者の利害や行動、買収価格などの側面から、理論的に研究している。	企業の経済学
	戸 塚 学	地域住民の健康維持増進の方策について、健康教育および運動学的視点から研究を行っている。	地域健康教育論
	石 川 善 朗	商品開発におけるプロセス指導及び開発、2Dや3DCGの表現技術、地域の工芸品に関する技術指導及び開発。	地域製品開発
	小 山 智 史	障害者や高齢者などの情報弱者を支援するICT技術の開発。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発話障害、学習障害等のコミュニケーション支援技術、健康支援技術、非インタラクティブなコミュニケーション支援技術など。	福祉情報技術
	長 南 幸 安	地域活性化のための地域産業への技術協力と分析、再生可能エネルギーとしてのバイオエタノールの産業化へ取り組み。	地域科学技術論
	内 山 大 史	科学技術を核とした地域産業活性化をメインテーマとし、無形有形資産(知的財産、人材等)、政策等要因について分析を行う。	地域産業振興論
	秋 葉 まり子 ※非常勤講師	アジア開発途上国の市場経済化の問題や課題を、企業、金融、農業の分野に焦点を当て、ミクロな視点で実証的な研究を行っている。	開発経済学
古 屋 泰 文 ※非常勤講師	環境変化を検出するモバイル型デバイスを用いて、人間活動、社会インフラのモニタリング、IT利用によるスマート社会構築とそのビジネス展開を研究開発する。	産学連携論	
地域 文化 研究	平 井 太 郎	人口減少社会・地域の持続可能性をめぐる合意形成、建造環境(特に集合住宅、公共施設等)の共同管理をめぐる合意形成、社会学方法論(アクション・リサーチ等)。	調査方法論 (地域社会研究【選択必修】) 地域社会動態論
	須 藤 弘 敏	地域の文化と文化財について、行政ではなく市民にとって必要な文化の形成と利活用について具体的に考えている。	地域文化と文化政策・文化財

地域文化研究	杉山 祐子	近代化に伴う地域の生活の変化を、在来知や地域の技術革新の過程、資源をめぐる社会関係の再編などの視点から検討している。	地域社会生態論
	佐藤 和之	地域社会構成員の複雑化から生じる、地域あるいは日本のことばの変容と、そのことばの使い手である住民の言語行動および言語意識についての調査・研究。	地域言語行動論
	作道 信介	「近代化」の枠組みのもと、地域社会の出来事や現象を「社会と文化と個人と歴史の出会い」をとらえる社会心理学的視点から論じる。	地域社会フィールドワーク論
	関根 達人	専門は日本考古学ならびに物質文化研究。多様な資史料を駆使して縄文時代や中世・近世の歴史・文化を研究しています。	埋蔵文化財の保護と活用
	山田 巖子	北東北を主なフィールドとして「民俗」の新しい文脈化の過程を研究しています。	民俗文化と地域社会
	大高明 史	分類学および生態学的な手法で生物群集の構成や環境との関わりを調べ、生物群集が成立する背景を探っている。	生物多様性論
	今田 匡彦	サウンドスケープ論及び記号論を基盤に、特定地域の音環境と音楽の関係を、芸術論、身体論、音楽教育を踏まえつつ、検討していく。	地域サウンドスケープ論
	児玉 忠	国語科教育（母語としての日本語の教育）に関する理論的・実践的研究。なかでも、地域の言語や言語文化の教材化に関する研究。	方言・地域語教育論
	小岩 直人	約10万年周期の氷期-間氷期サイクルの気候変化に伴う地形の応答、および地形形成過程に関する研究。	地表環境動態論
地域政策研究	土井 良浩	近代における都市・地域社会—空間の変容、多様な主体による地域課題の解決を促すプラットフォームの運営・構築手法。	地域政策形成論【必修】
	長谷河 亜希子	独占禁止法全般、および、フランチャイズ・システムの法規制について（日本の判例分析、米国における規制の現状）。	経済法・政策論
	金目 哲郎	国の地方自治体に対する財源保障について、経済政策体系、財政民主主義、地域住民の生活保障の視点から現状と課題を検討する。	地方財政論
	鎌田 耕太郎 ※平成28年3月まで担当	地球史解読の一環として、特にペルム紀以降の粗粒堆積物の堆積相解析とラハール堆積物や火砕丘形成について研究している。	地圏環境動態論
	北原 啓司	地方都市におけるコンパクトシティ実現のための方策および地域活性化戦略。	地域計画実践論
	増田 貴人	保育・教育における「気になる子ども（障害、異文化、病虚弱、家族関係等）」の背景や支援について、発達相談や地域子育て支援も含めながら、臨床発達心理学的にアプローチするものである。	発達支援・臨床保育論
	小瑠 史朗	社会科（地理歴史科・公民科含む）における「国際理解」に関する研究、日韓の歴史的相互理解に関する研究、青森県をフィールドにした地域教材の開発。	地域教育実践論

地域 政策 研究	大 坪 正 一	地域の担い手形成の観点から、「人間発達の地域づくり」のあり方や、地域づくり運動の教育的側面を検討する。	地域教育論
	平 岡 恭 一 ※平成28年3月まで担当	二種類の行動が可能ないわゆる選択行動場面における学習過程の研究、選択行動を基礎としたセルフコントロールや価値割引の行動分析学的研究。	行動分析論
	藤 田 昇 治	産業活性化や医療・福祉、教育、地域づくりなど、様々な地域課題・生活課題について究明するとともに、課題に取り組む「人材育成」の教育プログラム開発を生涯学習の視点から目指している。	生涯学習計画論
	猪 瀬 武 則 ※非常勤講師	地域の教育課題を、環境・開発・生命・経済倫理などに求め、多面的・多角的教育視点から、実践・政策上の処方方を再構築している。	地域教育課題論
	高 橋 一 平 ※非常勤講師	幼年期から健康教養およびその実践力を身につけ、身体機能を高く維持し、加齢による身体機能の衰えを抑制しながらいつまでも健康な生活を送る“健康づくり活動の普及”をテーマとする。	地域健康医療論
	成 田 史 子 ※非常勤講師	わが国の労働法制の現代的課題を探るため、判例・文献の検討を行う。その際、必要に応じて、EU法および欧米各国の法制度の検討も行う。	労働法・政策論

# お 知 ら せ

## 募集要項の請求について

募集要項の請求をする場合は、「大学院地域社会研究科学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒を同封の上、下記までお送りください。

- 返信用封筒：角形2号（A4サイズが入る大きさ）  
返信先の郵便番号、住所、氏名を記載  
205円分の切手を貼付（速達を希望する場合は485円分の切手）

- 請 求 先：弘前大学学務部入試課  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
TEL 0172-39-3973・3193  
FAX 0172-39-3125

## 地域社会研究科ホームページ

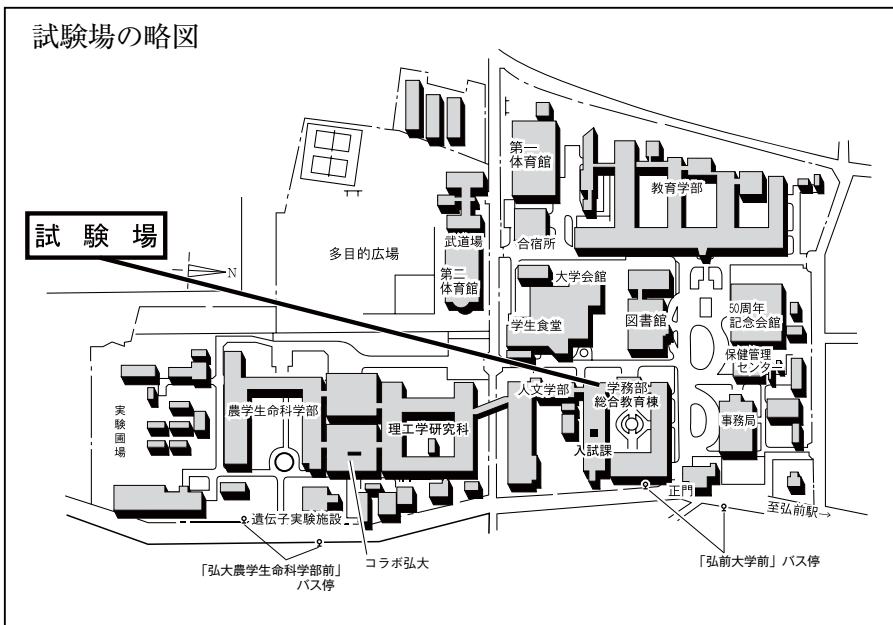
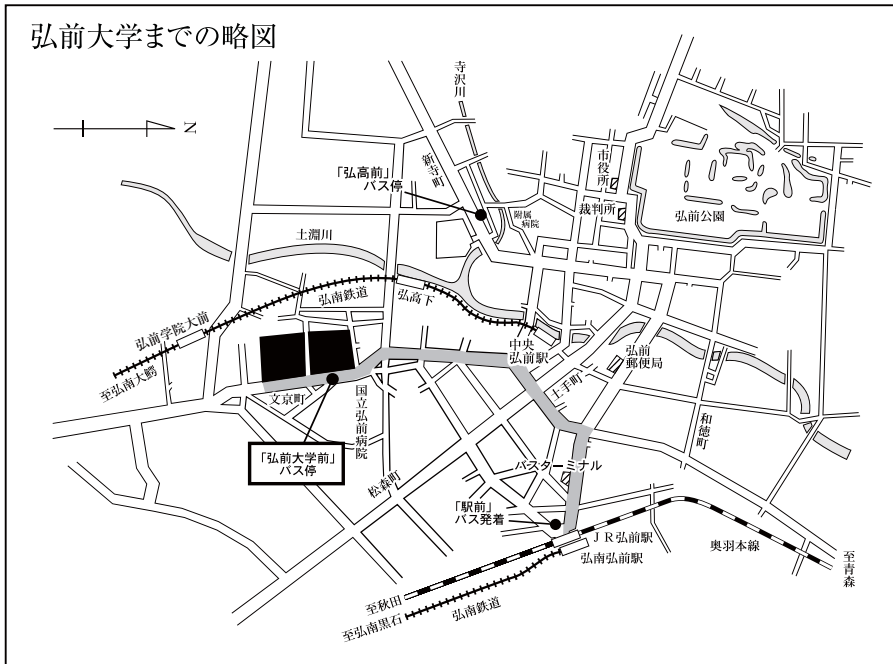
地域社会研究科に関する詳しい情報が掲載されています。

URL: <http://www.hirosaki-u.ac.jp/Tlag/>

## 問い合わせ先一覧

事 項	学務部担当名	電 話
○入学試験に関する事	入試課・大学院入試担当	0172-39-3973・3193
○入学料・授業料免除申請に関する事	学生課・経済支援担当	0172-39-3117・3135
○学生寮に関する事	学生課・課外教育担当	0172-39-3107
○教務に関する事	教務課・教務企画担当	0172-39-3960

# 試験場のご案内



- ◆ 自家用車での来学は、固くお断りします。
  - ◆ JR弘前駅からのアクセス
    - (1) 徒歩：約20分
    - (2) バス：約10分（駅前③番のりば乗車，弘前大学前下車）
    - (3) タクシー：約5分
- \* 道路状況により所要時間が変わりますのでご注意ください。

— 入学試験についての問い合わせ先 —

弘前大学学務部入試課  
 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
 電話 0172-39-3973・3193  
 FAX 0172-39-3125  
 URL <http://www.hirosaki-u.ac.jp/~nyu/>